秋高連第 11 回「ふるさと訪問団・県南編」の記録

実施月日 2025 年 6 月 26 日(木)～27 日(金) 一泊二日

宿泊地 湯沢市秋の宮温泉郷 スパ&リゾートホテル秋の宮山荘

☎0183-56-2048

今回のふるさと訪問団は、異例な出来事からスタートしました。それは、今までのふるさと訪問団では初めての事件で、当初予定していたこまち 3 号が、ひと月前の発売からほぼ満席状態で席の予約が大変難しいというものでした。幸いな事に、ひとつ前に臨時こまち 51 号が運行されていて、そちらに大部分の参加者が振替ることが出来ました。

6 月 26 日小雨の降りしきる中、こまち 51 号とこまち 3 号に分乗した参加者 32 名が大曲駅に降り立ちました。11:00 に駅東口広場で、長瀬良市会長の挨拶で高らかに結団式を宣言して美郷観光バスにて昼食予定地の道の駅うごに向かいました。12:00 に道の駅うごに到着しましたが、お昼どきで大変混み合っていました。皆さんカウンターに並んで名物の西馬内そばの冷がけを頂くことが出来ました。その後、700 年の歴史ある西馬内盆踊りを盆踊り会館の大スクリーンで見学して羽後高校に向かいました。13:30 に羽後高校に到着して校長先生、教頭先生から校内を案内して頂きました。総生徒 100 余名ながら男子ハンドボール部や西馬内盆踊り郷土芸能部の活躍を説明して頂きました。

次の訪問予定地である湯沢翔北高校雄勝校には、14:45 に到着して、教頭先生から地域高校としての特性をお聞きして校内の案内をして頂きました。その後、雨が降る中をバスで移動して 350 年の歴史ある院内銀山の案内場である異人館に、15:45 到着しました。ここでは当時の様子を記録した DVD の映写スクリーンを観て職員の案内を受けました。多い時には、江戸時代一万人以上の労働者が不夜城を作ったとの説明をお聞きしました。当日は大雨により道が悪路の為、院内銀山現地の案内は残念ながら叶いませんでした。

17:00 に宿泊地秋の宮山荘に到着して各自温泉で汗を流して懇親会まで寛ぎました。18:30 より、長瀬良市会長の挨拶で懇親会が盛大に始まりました。19:30 から秋田県と山形県の県境にそびえる神室山連峰の山岳信仰から生まれた秋の宮地区の役内番楽を、9 名の男女により盛大にお披露目して頂きました。又、参加者全員のお祝いもして頂きました。懇親会終了後に別室で二次会を開催して、20 人の参加で大いに飲み語り歌い盛り上がりお開きになりました。

二日目

朝 8:30 に玄関先にて集合写真撮影をして、宿泊地秋の宮山荘を湯沢市役所に向けて観光バスで出発しました。湯沢駅前にある菅元総理の胸像を踏まえバスの車窓

から眺めながら、9:15 に湯沢市役所に到着して、佐藤一夫湯沢市長はじめ総務課職員らの大歓迎を受けて、築 10 年の市庁舎を案内頂きました。次に 10:15 湯沢高校を訪問させて頂きました。湯沢高校は、改築真っ最中でありましたが、藤原校長先生、加賀谷同窓会副会長、土田同窓会副会長、岡本教頭先生らの歓迎を受けて、総勢 400 余名が学ぶ校舎を案内頂きました。体育館での授業参観も拝見しました。

11:30 に昼食予定地である佐藤養助総本店で、稲庭饅頭を頂きました。その後、隣接する工場にて匠の技を拝見して、沢山のお土産を買い込みました。13:00 に川連漆器伝統工芸館を見学して、ここでも沢山のお土産を買い込んでいらっしゃいました。次に銘酒両関酒造でお買い物、利き酒を十分に頂き最後の訪問予定地道の駅十文字に 14:30 到着しました。ここは、県南一の広さを誇る道の駅で、今年は不作と言いながらも売り場面積の四分の 1 を名物さくらんぼが占めておりました。ここでも沢山のお土産を買ったり、宅配で送ったりしておりました。

観光バスで一路大曲駅に向かい、16:15 に無事全員大曲駅東口に到着しました。ここで、長瀬良市会長の発声でふるさと訪問団解団式を行い、参加者 32 名それぞれ帰路につかれました。

担当幹事 高橋牧雄